

# 1 Chudnovsky (チャドノフスキー) の公式

$$\frac{1}{\pi} = \frac{12}{\sqrt{C^3}} \sum_{n=0}^{\infty} \frac{(-1)^n (6n)! (A + Bn)}{(3n)! (n!)^3 C^{3n}} \quad (1)$$

(但し、 $A = 13591409$ ,  $B = 545140134$ ,  $C = 640320$ )

## 2 Binary Splittling Algorithm(BSA 法)

級数展開の計算量 ( 計算時間 ) 削減のために使用する Binary Splittling Algorithm ( BSA 法 ) について簡単に理解しておく。(但し、ここでは Chudnovsky の公式を使用することに特化している)

まず、次のように定義される級数  $S$  を考える。(  $n_1, n_2$  は正の整数 )

$$S(n_1, n_2) = \sum_{n=n_1+1}^{n_2} \left( a_n \prod_{k=n_1+1}^n \frac{p_k}{q_k} \right) \quad (2)$$

また、級数  $P, Q, T$  を次のように定義する。(  $n_1, n_2$  は正の整数 )

$$P(n_1, n_2) = \prod_{k=n_1+1}^{n_2} p_k \quad (3)$$

$$Q(n_1, n_2) = \prod_{k=n_1+1}^{n_2} q_k \quad (4)$$

$$T(n_1, n_2) = S(n_1, n_2)Q(n_1, n_2) \quad (5)$$

すると、級数  $P, Q, T$  は次のように再帰的に評価される。(  $m$  は  $n_1 < m < n_2$  を満たす正の整数 )

$$P(n_1, n_2) = P(n_1, m)P(m, n_2)$$

$$Q(n_1, n_2) = Q(n_1, m)Q(m, n_2)$$

$$T(n_1, n_2) = T(n_1, m)Q(m, n_2) + P(n_1, m)T(m, n_2)$$

アルゴリズムとしては次のようになる。( 擬似的な記法 )

Func compPQT( $n_1, n_2$ )

•  $n_1 + 1 = n_2$  の場合

return ( $p_{n_2}, q_{n_2}, a_{n_2}p_{n_2}$ )

• 上記以外の場合

$m \leftarrow \lfloor (n_1 + n_2) / 2 \rfloor$

( $P_1, Q_1, T_1$ )  $\leftarrow$  compPQT( $n_1, m$ )

( $P_2, Q_2, T_2$ )  $\leftarrow$  compPQT( $m, n_2$ )

return( $P_1P_2, Q_1Q_2, T_1Q_2 + P_1T_2$ )

End func

### 3 円周率計算

公式 (1) を変形していくが、まず (1) の  $(6n)!/(3n)!$  の部分を変形する。

$$\begin{aligned}
 \frac{(6n)!}{(3n)!} &= \frac{\prod_{k=1}^{6n} k}{\prod_{k=1}^{3n} k} \\
 &= \frac{\prod_{k=1}^n 6k(6k-1)(6k-2)(6k-3)(6k-4)(6k-5)}{\prod_{k=1}^n 3k(3k-1)(3k-2)} \\
 &= \prod_{k=1}^n 24(6k-1)(2k-1)(6k-5) \\
 &= 24^n \prod_{k=1}^n (2k-1)(6k-1)(6k-5)
 \end{aligned}$$

ここで、

$$a_k = (-1)^k (A + Bk) \quad (6)$$

$$p_k = (2k-1)(6k-1)(6k-5) \quad (7)$$

$$q_k = k^3 C^3 / 24 \quad (8)$$

とおくと、公式 (1) は次のように変形できる。

$$\begin{aligned}
 \frac{1}{\pi} &= \frac{12}{\sqrt{C^3}} \sum_{n=0}^{\infty} \frac{a_n \prod_{k=1}^n p_k}{\prod_{k=1}^n q_k} \\
 &= \frac{12}{C\sqrt{C}} \sum_{n=0}^{\infty} a_n \frac{\prod_{k=1}^n p_k}{\prod_{k=1}^n q_k} \\
 &= \frac{12}{C\sqrt{C}} \left( a_0 + \sum_{n=1}^{\infty} a_n \prod_{k=1}^n \frac{p_k}{q_k} \right) \\
 &= \frac{12}{C\sqrt{C}} \left( A + \lim_{N \rightarrow \infty} (S(0, N)) \right) \\
 \pi &\simeq \frac{C\sqrt{C}}{12} \cdot \frac{1}{A + S(0, N)} \quad (N \text{ は正の整数})
 \end{aligned}$$

ここで、(5) が

$$\begin{aligned}
 T(n_1, n_2) &= S(n_1, n_2) Q(n_1, n_2) \\
 &= \left\{ \sum_{n=n_1+1}^{n_2} \left( a_n \prod_{k=n_1+1}^n \frac{p_k}{q_k} \right) \right\} \left( \prod_{k=n_1+1}^{n_2} q_k \right) \\
 &= \sum_{n=n_1+1}^{n_2} \left( a_n \prod_{k=n_1+1}^n p_k \prod_{k=n_1+1}^{n_2} q_k \right)
 \end{aligned}$$

となることから、

$$\begin{aligned}
 \pi &\simeq \frac{C\sqrt{C}}{12} \cdot \frac{Q(0, N)}{AQ(0, N) + T(0, N)} \\
 &= \frac{640230\sqrt{640320}}{12} \cdot \frac{Q(0, N)}{AQ(0, N) + T(0, N)} \\
 &= 426880\sqrt{10005} \cdot \frac{Q(0, N)}{AQ(0, N) + T(0, N)} \quad (N \text{ は正の整数}) \quad (9)
 \end{aligned}$$

あとは、 $N$  を適当に設定して Binary Splitting Algorithm で再帰的に  $P, Q, T$  を計算し、最後に式 (9) に代入すればよい。

但し、実際に計算機で計算する場合は、乗算で FFT (高速フーリエ変換)、除算・平方根でニュートン法を使用したり、高速演算用のライブラリを使用したりするなどして高速化を図る。